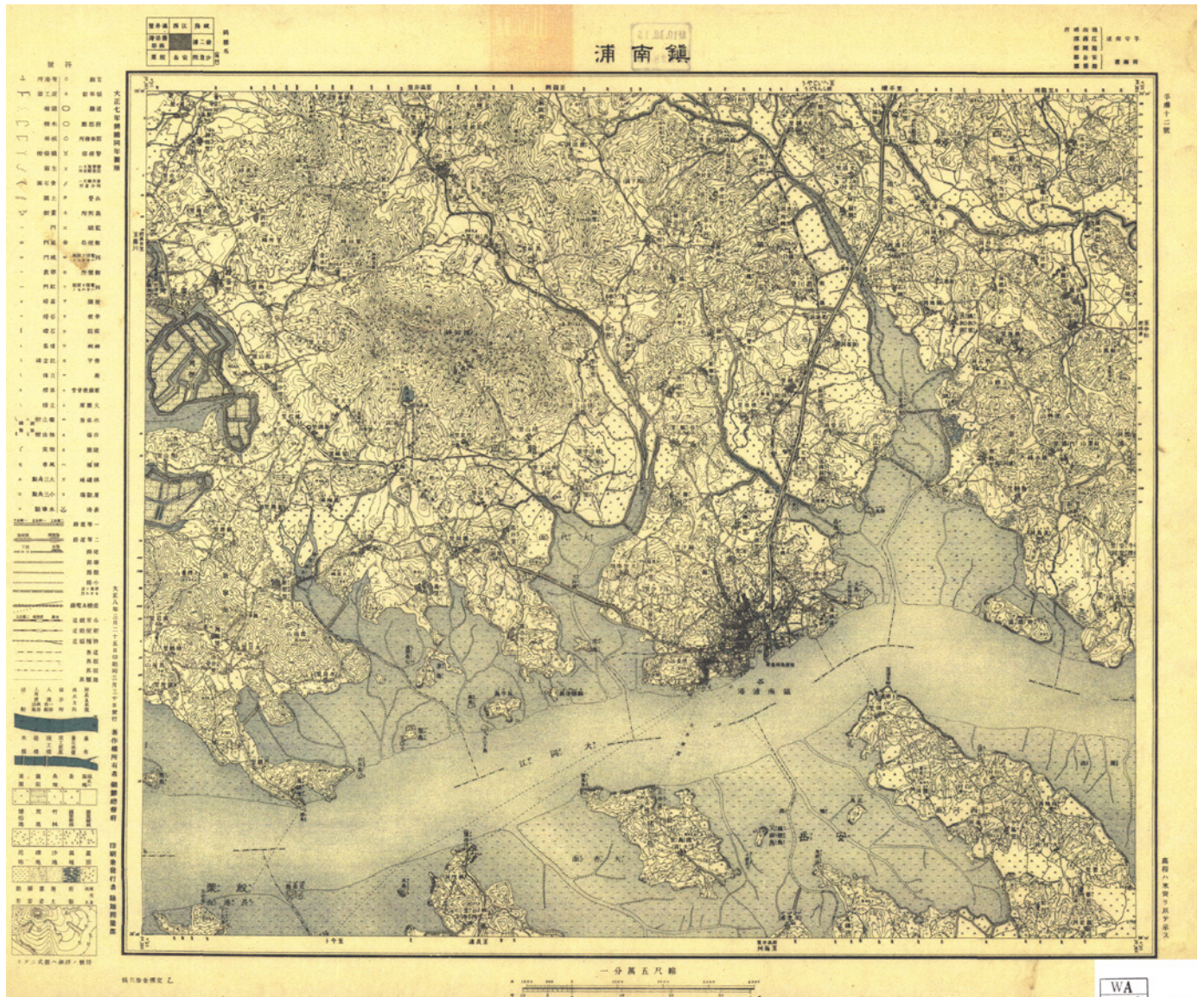


# 分布図情報



## 外邦図 5万分の1「鎮南浦」 大正8(1919)年 陸地測量部発行

外邦図とは、戦前に旧日本陸軍参謀本部陸地測量部が、主に軍事目的で作成した外国の地図のことです。

この図は、大同江の河口近くに位置し貿易港として発展していた「鎮南浦」とその周辺を範囲とする5万分の1地形図です。鎮南浦は現在の朝鮮民主主義人民共和国・南浦<sup>ナムポ</sup>で、北東約50kmにある平壤とは高速道路と鉄道で結ばれ、現在でも北朝鮮における西海岸最大の貨物港となっています。

